

やる気・やさしさ・根気強さのある子どもを育てる ～あいさつ・返事をする 命を大切にする 感謝する～



南っ子だより

家庭・地域版

文責 長崎市立南長崎小学校 校長 入江寿紀

人権集会を実施しました！

11月28日に人権集会を実施しました。今年は、インフルエンザの感染予防のため、オンラインで実施しました。5、6年生の校内平和委員会が中心となって集会を進めてくれました。まず、校内平和委員会による劇を視聴した後、委員会の子どもたちが平和に関する本の紹介をしてくれました。次は、全員合唱「世界がひとつになるまで」でした。教室でそれぞれ歌いました。最後に校長講話でした。それぞれの学級で、人権について真剣に考える子どもたちの姿がありました。自分の人権、周りの人たちの人権、一人一人の人権を大切に考えることのできる子どもに育てていきたいものです。

集会の中での校長講話では、

- ①「人権」とは、「人が生まれながらに持っている権利のこと」であり、「一人一人が大切にされ、幸せに生きること」であること。
- ②子どもにとっての人権とは、きれいな水を飲み、栄養のある食べ物を食べ、清潔な服を着て、安全な家で過ごし、暖かい布団で眠ることができる。安心して学校で勉強することができ、友だちと仲良く遊ぶことができること。けれども世界には、食べ物が無い、家がない、勉強したくてもすることができないなど、皆さんが当たり前と思っているような生活ができない子どもたちがたくさんいること。つまり、人権が守られていない子供たちがいること。
- ③もしかすると、皆さんの中にも人権が守られていない子どもがいるかもしれないこと。それは、暴力を受けたり、いじめられたりしている場合もあること。そんなことがあってはいけないこと。そんな時には、近くの大人に助けを求めていいこと。
- ④自分自身も、周りの人たちも、かけがえのない命と生きる権利を持っていること。思いやりと優しさを大切に接していくこと。
- ⑤人権集会の取組をきっかけに、みんなが大切にされ、幸せに生きることができる世の中にするために、自分は何ができるか考えていくこと。まずは、身近なところから考え、行動すること。自分を大切に、周りの人たちを大切にすること。

以上のことを話しました。

子どもたちには、自分も、友達も大切にできる思いやりのある優しい子どもになってほしいと思っています。そして、優しさを周りに広げていく子ども、周りの人の心を温かく、やさしくしていくことのできる子どもになってほしいと思っています。

